

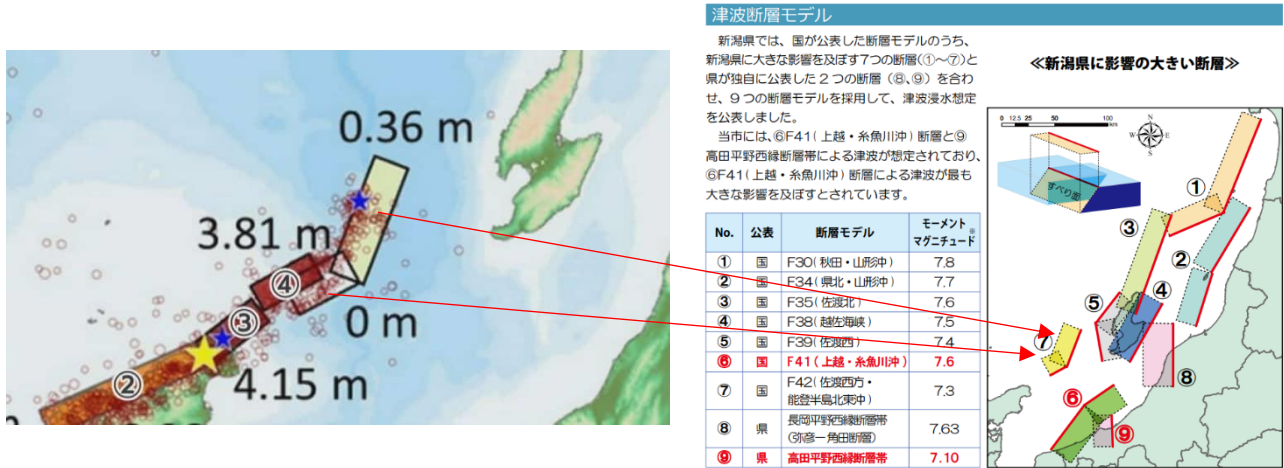
2024年1月1日能登半島地震から一か月

0 「怖かったよ～」 「不安だよ～」 「どうしよう・・・」 「そうだよね・・・」 気持ちを伝えよう

1 佐渡沖に活断層の割れ残り…2週間以内に“大きな余震”の恐れ 3mの津波押し寄せる可能性も

2024年01月26日 19:09 FNN プライムオンライン

地震からまもなく4週間が経ちますが、専門家は今後2週間以内に大きな余震が起こる恐れがあると警鐘を鳴らしています。この専門家が明らかにしたのは能登半島地震では佐渡沖の活断層にほとんど動きがなかったという分析結果です。(…中略…)



これまで日本海側で起きた3度の地震は約1カ月後に最大余震が起きているといます。「佐渡沖では十分注意する必要がある。1月1日から1カ月なので、あと1～2週間くらいは十分注意が必要だと思う」さらに、佐渡沖の活断層は新潟沿岸に近いので、津波が到達するまでの時間の短さに注意が必要です。「場所にもよるが、5～10分以内には到達するところが多い」佐渡沖で大きな余震が起きれば、高さ3mほどの津波が元日の地震よりも早く押し寄せる可能性があると言います。(後略…)

※上越市のハザードマップは、⑥上越・糸魚川沖断層と⑨高田平野西縁断層帯を警戒し作成

2 日本に住む者の心構え

【基礎情報(佐渡沖の断層で地震が発生した場合など)】

- ・佐渡沖の断層から直江津中学校までの距離はおおよそ60Km。約7.5秒後に縦揺れ、15秒後に横揺れが生じると考えられる(緊急地震速報とほぼ同時に揺れを感じる)。
- ・当校の海拔は9.7m(直江津中等10.2m、水族博物館駐車場12.9m、国府小11.9m)、上越市の津波ハザードマップでは、0～0.3mの浸水域に立地。
- ・学校は、震度7でも倒壊はしない(1981年6月以降に建てられた民家も同様)。
- ・1981年6月以前の旧耐震基準は震度5程度を想定。
- ・家具の転倒防止対策は必要不可欠(阪神淡路大震災の死因の8割は圧死)。
- ・地震発生後、3分を目安に津波警報が発令される。
- ・佐渡沖で地震が発生した場合は、直江津の海岸には6分(ハザードマップでは14分)後に到達する(上越・糸魚川沖断層で発生した場合は、もっと早くに到達する)。
- ・津波は、陸地でも時速36Km程度(トップアスリート以上)で進む。
- ・地震発生後、1Km以上離れた高台へ避難するのは難しい。

(1) 平日の学校での避難行動

- 屋内に居る場合は慌てて外へ出ず、棚やガラス窓から離れ、机の下（対角の脚を握る）や重心を低くし頭部を守る。
- 揺れが落ち着いたら、(教職員の指示を聞いて) 校舎の最上階へ避難する。

(2) 登下校時の避難行動

- 古い家屋や瓦屋根の家屋、高いところに看板・装飾等のある建物、ブロック塀、神社の石灯籠・鳥居、自動販売機、崖などから離れ、重心を低くし頭部を守る。
- 揺れが落ち着いたら、津波に備えて避難する。※避難先は、ハザードマップを事前確認

(3) 家での避難行動

- 屋内に居る際は慌てて外へ出ず、タンスや棚、ガラス窓、テレビから離れ、机の下（対角の脚を握る）や重心を低くし頭部を守る。(※築年数の確認・家具の転倒防止策の有無の確認)、
- 揺れが落ち着いたら、津波に備えて避難する。※避難先は、ハザードマップを事前確認
- ※震度5以上の地震が発生した場合、安否確認のためメールを配信しますので、確認しましょう。

「気付き、考え、書いてみよう」 ～マイ・タイムライン～

○ マイ・タイムラインとは…

- ☞住民ひとりひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、(中略)、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。
- ☞その検討過程では、市区町村が作成・公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どの様な避難行動が必要か、また、どういうタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。(国土交通省HPより)

○ 次の**3パターン**で、「地震→津波」の危険性を想定して、「気づき、考え、書いて」みましょう。

	0) 平常時[備えておく事・物]	1) 地震発生時	2) 津波に備える時
平日、学校にいる時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休みにグラウンドにいるときは、○○○○○。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机の下などで、頭を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パニックにならない。
登下校時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古い塀の場所を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重心を低くして頭部を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○○へ避難する。
その他()			

□ □ □ **進んでいく時間の流れ** →

○ いつまた地震が発生するとも限りません。今のうちに、家族と命を守る「準備」を始めましょう。